

子供輝く

@TOKYO

子供輝く@学校プロジェクト

二中ふっさっ子 輝く姿配信



学年だより等を通じて生徒の活動の様子を発信しました。その際に、生徒の学習活動の成果や学級活動等における好ましい取組について紹介することで、自己肯定感や成就感が得られるように工夫しました。生徒が自分自身の可能性に気づき、さらに向上していこうとする意欲を高められるように努めています。

第1学年



小さな親切 意見発表会を終えて

9月24日(金)に「小さな親切 意見発表会」を開催し、代表生徒8名が親切に関する意見発表を行いました。学校や家庭、地域社会で感じた親切に関するエピソードやそこから感じ得た体験談は、思わず心がほっこりするものでした。生徒の心の優しさを感じられ、それを共有できる時間となりました。これからも第1学年重点指導目標「思いやりの心を育み、自他を大切にできる人になろう」に向けての心の育成を進めてまいります。オンラインにより多数の保護者の皆様にも御視聴いただきました。ありがとうございます。

第2学年

生徒の好ましい姿を毎週紹介しています

- 1組 朝早く学校に来る(時間に余裕をもって来る)生徒が増えています。
- 2組 給食の準備、片付けを手伝ってくれる人がいます。
- 3組 給食の準備を協力して早く行っています。
- 4組 目標を立て、達成しようと頑張るようになりました。

第3学年

体育大会の練習でのエピソード

7日(火)のクラス練習では、3年生が各自の課題をもって出場する種目の練習を行っていました。クラス対抗リレーのバトンの受け渡しでは、受け取る人がタイミングよく走り出し、渡す人の「ハイッ!」という掛け声で、後ろを振り向かず右手を出し絶妙なタイミングでバトンの受け渡しを完了させている様子に、見ていた1年生から「上手だな。ああいうハンドパスをしたいな。」という声が聞こえてきました。練習に対する姿勢や学年全体での移動、整列など、多くの場面で1・2年生をリードしてくれています。

- <第1学年>小さな親切体験を発表し、思いやりの大切さを生徒及び保護者と共有することができた。
- <第2学年>生徒やクラスの成長の様子を学年だより等で紹介し、互いに認め合い、高め合う姿を共有することができた。
- <第3学年>最上級生として下級生に見せる姿やその思いを学年だよりなどで紹介し、達成感や成就感を感じさせることができた。

福生市立福生第二中学校